



教員が研究の楽しさを語る

第195回(6/26)中岡 宏子先生推薦

ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 アかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book1

へその緒が語る体内汚染：未来世代を守るために

著者：森千里, 戸高恵美子著
出版：技術評論社, 2008.4



Book2

発達障害の原因と発症メカニズム：脳神経科学からみた予防、治療・療育の可能性

著者：黒田洋一郎, 木村-黒田純子著
出版：河出書房新社, 2014.5



Book1&Book2のコメント：最近、子供たちのアレルギーや発達障害が増えているのではないかとされています。その原因の一つとして環境中の化学物質が子供たちの健康になんらかの影響を与えているかもしれないと考えられ、世界中で調査や研究が進められています。これからの子供たちの健康を守るために私たちは何をすればいいのか、どう暮らしていけばいいのかを考えるきっかけになる書籍です。

Book3

「幸せの種」はきっと見つかる：求めない、恨まない、挫けない、怯まない、そして、急がない

著者：古在豊樹著
出版：祥伝社, 2008.8

コメント：前々学長の古在豊樹先生が若い人たちにおくられたエール。どこにいてもどんな時にでもその人の心の持ち方次第で人生は輝くこと、人はその生き方、在り方で評価されるべきということを教えられます。





Book4

アノスミア：わたしが嗅覚を失ってからとり戻すまでの物語

著者：モリー・バーンバウム著；ニキリンコ訳

出版：勁草書房, 2013.9

コメント： シェフを目指す女性が交通事故で嗅覚機能を失ってから回復するまでの過程を描いた書籍。

「嗅覚」とヒトの「感情」がどれだけ密接につながっているのか、私たちの世界はどれほど「におい」によって彩られているのかを再認識できます。

「におい」は表現が難しい感覚ですが、この本を読むと美味しいにおいが頭に浮かんで猛烈におなかが減ってきます。

